

## 平成16年度事業報告について

### 【債務保証事業】

#### 1. 債務保証の実績

##### (1) 保証実績

〔保証件数〕	0件
〔保証額〕	0円

##### (2) 平成17年3月末現在の保証状況

〔保証件数〕	2件
〔保証額〕	12,035千円

#### 2. 「テクノポリス特別講演会」の開催

(郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会と共催)

製造業を取り巻く国内外の経営環境がめまぐるしく変化し続けるなか、郡山地域の企業がさらなる成長を続けていくためには、それぞれの企業が研究開発能力や技術力を高めて「挑戦する心」を持ち続けると同時に、産学の連携や優れた経営資源を持つ企業同士の連携など、地域全体としての戦略的な取り組みが求められている。

本講演会は、「今、求められている経営戦略」について考えることをテーマに開催した。

〔開催日〕 平成17年3月11日(金)

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 80名

〔内容〕 第1部

テーマ ハイテク企業経営の変遷～半導体産業の例～

講師 福島県産業技術顧問 柳田公雄氏

第2部

テーマ 我が社の経営方針と戦略～魂の経営～

講師 アンデス電気(株) 代表取締役社長 安田昭夫氏

### 【技術振興事業】

#### 1. 研修指導事業

##### (1) 交流事業

###### ① 福島大学と郡山地域テクノポリス圏域との産学連携フォーラム

〔開催日〕 平成16年10月14日(木)

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 150名

〔内容〕 ・福島大学再編と地域創造支援センターの紹介

福島大学地域創造支援センター 産学連携コーディネーター 八代 勉 氏

- ・郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の紹介と福島大学に期待すること

(株)エヌケー製作所 代表取締役 内藤清吾 氏 (アライアンス委員)

- ・福島大学シーズ事例紹介 (シーズ紹介)

共生システム理工学類

人間支援システム専攻教授 高橋隆行 氏 (ロボット工学)

産業システム工学専攻助教授 佐藤理夫 氏 (製造プロセス工学)

環境マネジメントシステム専攻講師 高貝慶隆 氏 (微量分析技術)

経済経営学類

企業経営専攻助教授 三崎秀央 氏 (イノベーション類)

## ②第5回産・学・官連携フォーラム

日本大学工学部と産・学・官組織の協力体制を強化させるための研究シーズの説明会を日大工学部と当財団の主催により開催した。

[開催日] 平成16年1月12日 (金)

[会場] 日本大学工学部

[参加者] 200名

[内容] 第1部 基調講演

テーマ「新製品開発のための産学官連携方策～ターゲットドリブンモデル」

講師 東北大学大学院工学研究科教授 長平彰夫 氏

第2部 パネルディスカッション

テーマ「より魅力的な産学官連携の輪づくりから新製品創製へ」

コーディネーター 東北大学大学院 教授 長平彰夫氏

パネリスト 日本全薬工業(株) 代表取締役社長 福井邦晃氏

(株)吉城光科学 代表取締役会長 吉田俊夫氏

(財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事 大塚 淳

日本大学工学部 教授 出村克宣氏

日本大学工学部 教授 西出利一氏

日本大学工学部 教授 白井健二氏

第3部 ポスターセッション

## ③日本大学工学部とテクノポリス推進機構 (アライアンス形成会議) との懇談会

日本大学工学部との新事業の展開や今後の連携強化策について、アライアンス役員企業を交え意見交換を行った。

[開催日] 平成17年1月26日 (水)

[会場] ホテルハマツ

[参加者] 30名

[内容] ・テクノポリスの活動状況と日本大学工学部に対する要望

・インキュベーション施設構想について

・意見交換

## ④ものづくりセミナー

企業の活力ある成長発展のため、ものづくりやマーケティングについて考察すること

を目的に、郡山市との共催により開催した。

〔開催日〕 平成17年2月15日（火）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 120名

〔内 容〕 ・第1部 プレゼンテーション

ものづくりのまち「こおりやま」をPRしよう

講師 郡山工業振興協議会 会長 遠藤正夫 氏

講師 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

委員 内藤清吾 氏

・第2部 基調講演

「これからのものづくりとマーケティングを考える」

講師 経済評論家・キャスター 西村 晃 氏

#### ⑤ IT交流プラザ

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、「IT」に関心の高い企業やSOHO、個人の交流促進、さらに産学官連携を図るために、「IT交流プラザ」で交流会等を開催した。

（参加事業所 166社 会員数 224名）

##### （ア）第1回「IT交流プラザ」

（「福島大学と郡山地域テクノポリス圏域との産学連携フォーラム」福島大学との共同主催）

※IT交流プラザ事業として同時開催。

〔開催日〕 平成16年10月14日（木）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 150名

〔内 容〕 上記 ①福島大学と郡山地域テクノポリス圏域との産学連携フォーラム  
参照

##### （イ）第2回「IT交流プラザ」

電子自治体構想について理解を深めるため講演会を開催。また、Blue-X研究会の研究開発について紹介した。

〔開催日〕 平成16年10月20日（水）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 80名

〔内 容〕 第1部「e-JAPANの概要とICT政策について」

講師 郡山市企画部情報政策課 参事兼課長 高田繁氏

第2部「Blue-X研究会の研究開発報告」

講師 フォルテ・システムズ株式会社 代表取締役 鈴木和隆氏

第3部 交流会

##### （ウ）第3回「IT交流プラザ」

（「第5回産・学・官連携フォーラム」 日大工学部との共同主催）

※IT交流プラザ事業として同時開催。

[開催日] 平成16年11月12日(金)  
[会場] 日本大学工学部  
[参加者] 200名  
[内容] 上記 ②第5回産・学・官連携フォーラム参照

(エ) 第4回「IT交流プラザ」

(「ホームページクリエイターズフォーラム」)

HP制作者(クリエイター)や、運営者などのWeb技術向上を図るため開催。

[開催日] 平成16年12月3日(金)

[会場] ホテルハマツ

[参加者] 90名

[内容] 第1部「最新Web技術の紹介」

講師 ㈱セカンドファクトリー 代表取締役 大関興治氏他

第2部「Webアクセシビリティ基準について」

講師 ふくしまWebクリエイターズフォーラム 竹田洋一氏

第3部「郡山地域ホームページコンテストの紹介」

講師 郡山女子大学短期大学部教授 久家三夫氏

第4部 交流会

(オ) 第5回「IT交流プラザ」

(「個人情報保護法対策セミナー」)

平成17年4月からの個人情報保護法の完全施行に対応した情報漏洩対策をセミナー形式で開催。

[開催日] 平成16年12月14日(火)

[会場] ホテルハマツ

[参加者] 70名

[内容] 第1部「個人情報保護法対策セミナー」

講師 NECソフトウェア販売推進本部

マーケティングマネージャー 野田雄三氏

第2部 交流会

(カ) 第6回「IT交流プラザ」

(「SOHO支援フォーラム」)

SOHO向けの業務委託等の情報交換の場としてフォーラムを開催。

[開催日] 平成17年2月3日(木)

[会場] ビッグパレットふくしま

[参加者] 50名

[内容] 第1部「SOHOなどの事業者の方々からのプレゼンテーション」

コーディネーター フォルテ・システムズ㈱ 代表取締役 鈴木和隆氏

プレゼンター (有)ビーウェブスタジオ 代表取締役 宍戸正樹氏他

(合)パソネットワールド 代表 石井幸江氏

フクジンコンサルタンツ㈱ 代表取締役 奥田安雄氏

(有)ポケットプロジェクト 代表取締役 金山正美氏

## (2) 研修指導事業

### ① 炭の研究会（研究開発シーズ探索）

近年、新素材として注目されている「炭」を科学的に研究し、新事業の創出に結びつけることを目指した研究会を、日本大学工学部NUアドバイザー 柳沼力夫氏を迎えて活動を展開した。

〈第6回〉 平成16年6月2日（水）

〔内 容〕 ブレーンストーミング（アイデア発想）

〔参加者〕 34名

〈第7回〉 平成16年7月22日（木）

〔内 容〕 講演会

第1部 「福島県炭振興基本方針及び最近の動向について」

講師 福島県農林水産部県産材特産G 主任主査 飯沼隆宏氏

第2部 「炭の油脂劣化防止効果について」

講師 郡山女子大学家政学部食物栄養学科 教授 廣井 勝氏

〔参加者〕 47名

〈第8回〉 平成16年10月3日（日）4日（月）

〔内 容〕 日本大学工学部との合同炭化実験・実習

〔参加者〕 30名

〈第9回〉 平成17年1月27日（木）

〔内 容〕 第2回ブレーンストーミング（開発アイデアの評価）

〔参加者〕 23名

〈第10回〉 平成17年3月1日（火）

〔内 容〕 日本大学工学部との合同炭化実験・発表

講師 日本大学工学部NUアドバイザー 柳沼力夫氏

〔参加者〕 25名

### ② IT産業リトレーニング研修事業

福島県から補助を受け、日本大学工学部と連携し、ソフト系IT分野の担い手としての高度なIT技術者を養成するため、国際標準スキル認定制度である「CompTIA」に準じた研修事業を行った。

〔開催日〕

・システム管理者コース「CompTIA A+」

平成16年7月28日～8月26日 17日間 受講者14名

・ネットワーク管理者コース「CompTIA Network+」

平成16年8月9日～9月17日 17日間 受講者10名

〔会 場〕 日本大学工学部（情報工学科 第二演習室）

〔講師等〕 日本大学工学部講師陣及びアシスタント

### (3) 日本大学工学部工学研究所テクノポリス技術サポートオフィスNU事業

大学と産業界とのリエゾン機能を発揮するため日本大学工学部の協力を得てテクノ事務局内に開設している。

- 〔内 容〕 ・技術に関する相談  
・共同研究  
・委託研究及び奨学寄付の受付  
・工科系教育に関する相談

〔期 間〕 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

〔相談件数〕 96件

## 2. 研究開発支援事業

### (1) F/S(フィージビリティ・スタディ)助成事業

下記3件のF/S支援案件が決定された。

#### ① フォルテ・システムズ(株)

「Bluetooth技術を応用したハンズフリー情報機器の開発事前研究」

企業、看護用を想定した両手が自由になる情報機器の可能性を調査する。

〔助成金額100万円〕

#### ② 樽川技建(株)

「地元産ゼオライトを主原料としたシックハウス対応型の土壁建材の開発事前研究」

吸放出と化学物吸着・分解が優れたゼオライト土壁建材の施工方法とコスト面について調査する。

〔助成金額92万円〕

#### ③ ㈱フクヤマ

「多孔質セラミック歩道板の性能確認および市場調査」

原料に廃瓦碎石くずを再利用したエコリサイクル品の新規製品(試作品)の可能性を調査する。

〔助成金額100万円〕

### (2) 研究開発助成事業

技術等審査委員会において、下記5件の研究開発事業について助成が決定された。

#### ① 笠原工業(株)須賀川工場

「発泡スチロール用小型予備発砲機の開発」

発泡スチロール用予備発砲機を小型化し、作業メンテナンス向上、省スペース化を図る。

〔助成金額150万円〕

#### ② ㈱テレジャパン

「シンクライアント/サーバ方式による情報一元管理システムの開発」

クライアント側のPCの個人データやアプリケーションをサーバーで管理することにより情報を一元化するシステムを開発。

〔助成金額150万円〕

③福島パルス(株)

「水力式道路清掃機の開発」

簡易で安価な道路の泥汚れ清掃機を開発。

〔助成金額100万円〕

④医療法人慈敬会乾マタニティクリニック

「新規ヒト生殖補助医療技術 (ART) 並びにこれらをサポートする機器・機材の研究開発」  
不妊治療関連のサポート評価技術、装置の研究開発をし、難治不妊患者の治療システムを確立する。

〔助成金額150万円〕

⑤ひさき設計(株)

「DVD±RWの記録性能を向上させたDVD関連の売上拡大」

高品位画像、音声の記録・再生やノイズ軽減を目指したDVD±RWの技術開発。

〔助成金額210万円〕

### (3) 研究開発支援事業

次の研究会活動を行う企業グループなどの活動を支援した。

①Blue-X研究会

短距離無線規格であるBluetoothを活用した福祉施設等向けのIT製品開発に取り組む研究会を開催した。

- ・4月19日 第4回Blue-X研究会

「ハンズフリー機器のデザインコンテスト募集開始」

「Bluetooth-SGとのライセンス契約について」

3社7名参加

- ・5月10日 第5回Blue-X研究会

「ハンズフリー機器のデザインコンテスト募集状況」

「開発日程の協議、支援制度の申請検討」

3社8名参加

- ・5月26日 ハンズフリー機器デザインコンテストの審査会

- ・6月1日 第6回Blue-X研究会

「ハンズフリー機器デザインコンテスト応募作品の評価・検討」

「開発日程、F/S支援制度申請の検討」

3社9名参加

- ・6月1日 ハンズフリー機器デザインコンテスト表彰式

- ・6月11日 F/S支援制度の申請

- ・6月29日 第7回Blue-X研究会

「開発ブロック図、音声認識エンジン等仕様の検討」

3社9名参加

- ・7月27日 第8回Blue-X研究会

「製品仕様書のまとめ、開発工程の検討」

3社7名参加

- ・8月24日 第9回Blue-X研究会  
「ユーザーニーズ調査・ヒアリング」

3社6名参加

- ・9月10日 UDフェアへ出展
- ・10月5日 第10回Blue-X研究会  
「機器仕様の協議、製品コストの検討」

3社6名参加

- ・11月21日 第11回Blue-X研究会  
「ビジネスクリエーションへの展示、製品仕様書のまとめ」  
「F/S支援制度の調査報告」

3社6名参加

## ②アドホック研究会

### (ア) アドホック研究会

- 4月 平成16年度総会
- 5月 会員からの情報発信① (プレゼンテーション)
- 6月 会員からの情報発信① (プレゼンテーション)  
須賀川方部アドホック会員企業(株)ナショナルマリンプラスチック訪問
- 7月 東北パイオニア(株)米沢事業所 次世代ディスプレイ製造ライン視察
- 8月 プロジェクトX特別展視察 (東京)
- 9月 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター視察
- 10月 福島大学と郡山地域テクノポリス圏域との産学連携フォーラム参加  
海外研修 (中国・大連 コニカミノルタオプト、開発区管理委員会)
- 11月 会員からの情報発信③ (プレゼンテーション)
- 12月 宿泊研修会 (磐梯熱海温泉 向瀧)  
講師 日本大学工学部テクノポリス技術サポートオフィスNU  
技術アドバイザー 柳沼力夫 氏
- 1月 知的財産タウンミーティング参加聴講
- 2月 ものづくりセミナー参加聴講 講師 経済評論家 西村晃氏他
- 3月 平成17年度事業計画の意見交換

### (イ) 須賀川方部アドホック研究会

- 4月 平成16年度総会
- 5月 平成16年度事業計画の決定
- 6月 会員企業訪問①(株)ナショナルマリンプラスチック
- 7月 東北パイオニア(株)米沢事業所 次世代ディスプレイ製造ライン視察
- 8月 会員企業訪問②(株)ひまわり
- 9月 ユニバーサルデザインフェア視察研修
- 10月 海外研修 (中国・大連 コニカミノルタオプト、開発区管理委員会)
- 11月 会員企業訪問③(株)平戸製作所
- 12月 テーブルスピーチ「雪のかがく」

講師 日本大学工学部テクノポリス技術サポートオフィスNU  
技術アドバイザー 柳沼力夫 氏

- 1月 ものづくりセミナー参加聴講 講師 経済評論家 西村晃氏他(2月実施)  
2月 会員企業訪問④(旬)アグリハウス秋山  
3月 平成17年度事業計画の意見交換

#### (4)戦略的アライアンス形成事業

テクノ圏域に集積する製造業企業を核として、各種支援施策や研究開発、新たな受発注の受け皿としての「郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議」を設置し、プロジェクトの具体化を目指し、下記のとおり事業を行った。

##### 【交流会会議等】

##### ①郡山地域中小製造業の経営戦略に関する懇談会

〔開催日〕 平成16年6月21日(月)

〔会場〕 郡山ビューホテル

〔参加者〕 14名

〔内容〕 ・基調講演

「東北地域における自己革新型ものづくり企業群の育成について」

講演 東北経済産業局長 本部和彦 氏

- ・郡山地域の取り組み状況(アライアンス形成会議)
- ・意見交換

##### ②郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議－運営研究会

(ア) 第1回運営研究会

〔開催日〕 平成16年7月12日(月)

〔会場〕 郡山ビューホテルアネックス

〔参加者〕 19名

〔内容〕 ・経済産業省「新産業創造戦略」について

説明 東北経済産業局

地域経済部産業支援課新規事業係長 小林 学 氏

- ・アライアンス受発注推進部会の活動報告
  - ・アライアンス研究開発推進部会の活動報告
  - ・協議テーマ 共同受注体制の確立に向けて－今後取り組むべき課題等
- 講師アドバイザー

佐久間コンサルティングオフィス 佐久間陽一郎 氏

アドバイザー

東北大学大学院工学研究科教授 長平彰夫 氏

(株)イー総研 代表取締役社長 中村和夫 氏

(イ) 第2回運営研究会

〔開催日〕 平成16年10月1日(金)

〔会場〕 ホテルハマツ

- 〔参加者〕 21名
- 〔内 容〕 ・郡山地域技術開発型企業に関する調査報告  
 ・講演「新製品開発のための産学官連携方策  
 ～ターゲットドリブンモデルの試み」  
 講師 東北大学大学院工学研究科教授 長平彰夫 氏  
 ・協議テーマ 研究開発活動の推進に向けて  
 ～成功させるために今後取り組むべき課題等に関する協議  
 アドバイザー  
 東北大学大学院工学研究科教授 長平彰夫 氏  
 佐久間コンサルティングオフィス 佐久間陽一郎 氏  
 ・経営革新支援法等の3法統合について  
 説明 東北経済産業局  
 地域経済部産業支援課 課長 久保田保 氏  
 産業部中小企業課 課長補佐 熊谷一夫 氏

③アライアンス形成会議全体交流会

- 〔開催日〕 平成16年11月15日（月）
- 〔会 場〕 ビッグパレットふくしま
- 〔参加者〕 30名
- 〔内 容〕 ・講演「ハイテク企業の資材調達動向の一例」  
 講師 福島県産業技術顧問 柳田公雄 氏

【研究開発推進部会】

①環境保全・共生科学技術研究会

(ア)「第1回ブレスト懇談会－1」

- 〔開催日〕 平成16年4月6日（火）
- 〔会 場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター
- 〔参加者〕 15名
- 〔内 容〕 自然環境保全（水環境）  
 担当 日本大学工学部土木工学科教授 中村玄正 氏

(イ)「第1回ブレスト懇談会－2」

- 〔開催日〕 平成16年4月7日（水）
- 〔会 場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター
- 〔参加者〕 14名
- 〔内 容〕 産学官連携  
 担当 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏  
 地盤構造物  
 担当 日本大学工学部土木工学科教授 田野久貴 氏

(ウ)「第1回ブレスト懇談会－3」

- 〔開催日〕 平成16年4月9日（金）
- 〔会 場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター

〔参加者〕 14名  
〔内 容〕 地盤材料の資源化  
担当 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏

(エ)「第2回環境保全・共生科学技術研究会」

〔開催日〕 平成16年4月16日(金)  
〔会 場〕 日本大学工学部50周年記念館  
〔参加者〕 30名  
〔内 容〕 省エネルギーやクリーンエネルギーに関する領域  
コーディネーター 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏  
・「福島県における新エネルギー導入スキームについて」  
講師 日本大学工学部情報工学科教授 佐藤晴夫 氏  
・「市町村の地域新エネルギービジョンと官民産学連携について」  
講師 日本大学工学部機械工学科助教授 渡部弘一 氏  
・「夢ではない、リニアモータ」  
講師 日本大学工学部電気電子工学科教授 大平膺一 氏  
日本大学工学部電気電子工学科助教授 乾 成里 氏  
・「超臨界流体を利用した環境保全技術の開発」  
講師 日本大学工学部物質化学工学科専任講師 児玉大輔 氏

(オ)「第2回ブレスト懇談会-1」

〔開催日〕 平成16年6月22日(火)  
〔会 場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター  
〔参加者〕 15名  
〔内 容〕 超臨界流体利用の環境保全技術  
担当 日本大学工学部物質化学工学科教授 加藤昌弘 氏  
日本大学工学部物質化学工学科専任講師 児玉大輔 氏

(カ)「第2回ブレスト懇談会-2」

〔開催日〕 平成16年6月24日(木)  
〔会 場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター  
〔参加者〕 16名  
〔内 容〕 地域新エネルギー  
担当 日本大学情報工学科教授 佐藤晴夫 氏  
日本大学情報工学科助教授 渡部弘一 氏

(キ)「第3回環境保全・共生科学技術研究会」

〔開催日〕 平成16年7月2日(金)  
〔会 場〕 日本大学工学部50周年記念館  
〔参加者〕 55名  
〔内 容〕 廃棄物の処理・リサイクルや未利用資源の活用に関する領域  
コーディネーター 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏  
・「バイオディーゼル燃料のディーゼルエンジンへの利用と課題」  
講師 日本大学工学部機械工学科教授 森谷信次 氏

・「新規機能性吸着剤の開発と水中有害物質の除去」

講師 日本大学工学部物質化学工学科教授 平山和雄 氏

・「土壁によるタバコ煙含有空気汚染物質の除去・脱臭効果」

講師 日本大学工学部建築学科教授 岩崎 博 氏

(ク)「第3回プレスト懇談会－1」

〔開催日〕 平成16年9月6日(月)

〔会場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター

〔参加者〕 16名

〔内容〕 バイオディーゼル燃料のバイオディーゼルエンジンへの利用

担当 日本大学工学部機械工学科教授 森谷信次 氏

(ケ)「第3回プレスト懇談会－2」

〔開催日〕 平成16年9月9日(木)

〔会場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター

〔参加者〕 11名

〔内容〕 土壁の多用途開発の可能性

担当 日本大学工学部建築学科教授 岩崎 博 氏

(コ)「第3回プレスト懇談会－3」

〔開催日〕 平成16年9月9日(木)

〔会場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター

〔参加者〕 9名

〔内容〕 新規機能性吸着剤の開発と水中有害物質水中有害物質の除去

担当 日本大学工学部物質化学工学科教授 平山和雄 氏

(サ)「第4回環境保全・共生科学技術研究会」

〔開催日〕 平成16年10月8日(金)

〔会場〕 日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター

〔参加者〕 20名

〔内容〕 環境に関する評価・分析に関する領域

コーディネーター 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏

・「画像処理の物体計測への応用」

講師 日本大学工学部情報工学科教授 原 靖彦 氏

・「超音波インパルスを用いた微粒子濃度測定用センサ」

講師 日本大学工学部電気電子工学科教授 小林 力 氏

日本大学工学部電気電子工学科専任講師 田井秀一 氏

(シ)「第5回環境保全・共生科学技術研究会」

〔開催日〕 平成17年1月25日(火)

〔会場〕 日本大学工学部50周年記念館

〔参加者〕 55名

〔内容〕 防災および災害に関する領域

第1部講演

・「最近の地震災害と地震防災に関する話題」

講師 日本大学工学部土木工学科助教授 中村 晋 氏

- ・「熱赤外線撮影および三次元写真計測を用いたモルタル吹付け法面の劣化診断について」

講師 (株)アーバン設計 取締役技師長 原 勝重 氏

#### 第2部パネルディスカッション

「災害時における危機管理（情報伝達方法および交通網復旧対策）について」

コーディネーター 日本大学工学部土木工学科教授 長林久夫 氏

パネリスト

郡山市総務部消防防災課 主幹兼課長補佐 熊田宏幸 氏

日本大学工学部土木工学科助教授 中村 晋 氏

日本大学工学部土木工学科助教授 堀井雅史 氏

日本大学工学部建築学科助教授 濱田幸雄 氏

## ②医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

### (ア)「第3回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」

〔開催日〕 平成16年5月27日（木）

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者〕 50名

〔内容〕 ・「脳血管内治療技術の紹介と医療機器開発の要請」

講師 日本大学松戸歯学部教授 平山晃康 氏

・「血管内治療用カテーテルの開発事例紹介と製作依頼の説明」

講師 (株)アイアール 代表取締役社長 河邊大輔 氏

・「福島県知的クラスター及びNEWCATにおける医療機器開発事例と製作依頼の説明」

講師 日本大学工学部工学研究所次世代工学技術研究センター  
(NEWCAT)プロジェクトリーダー

日本大学工学部電気電子工学科教授 尾股定夫 氏

### (イ)「第4回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」

医工連携フォーラム in 郡山2004

〔開催日〕 平成16年9月24日（金）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 130名

〔内容〕 コーディネーター

日本大学工学部電気電子工学科教授 尾股定夫 氏

・「高齢者介護の現状と課題」

講師 総合南東北病院リハビリテーションセンター科長  
理学療法士 山口和之 氏

・「産学連携による新事業～成功の秘訣は知財戦略」

講師 システム・インテグレーション(株)  
代表取締役社長 多喜義彦 氏

- ・「医療・福祉機器産業の現状と将来展望について」  
講師 経済産業省商務情報政策局サービス産業課  
医療・福祉機器産業室 室長補佐 近藤裕之 氏

(ウ)「第5回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」

- 〔開催日〕 平成17年2月21日(月)
- 〔会場〕 日本大学工学部工学研究所次世代工学技術研究センター
- 〔参加者〕 50名
- 〔内容〕 コーディネーター

日本大学工学部電気電子工学科教授 尾股定夫 氏

- ・「不妊治療の現状と将来展望」  
講師 医療法人慈敬会乾マタニティクリニック  
院長 乾 裕昭 氏

- ・「芸術は人の心を癒す」  
講師 ㈱芸術造形研究所  
代表取締役 金子健二 氏

【受発注推進部会】

①共同受注体制構築に関する説明会

- 〔開催日〕 平成16年4月19日(月)
- 〔会場〕 ビッグパレットふくしま 中会議室B
- 〔参加者〕 27名
- 〔内容〕 ・共同受注体制「FFMS構想」について  
・解決すべき課題と今後の予定について

②コア企業幹事会

- 〔開催日〕 平成16年5月10日(月)
- 〔会場〕 テクノポリス事務局
- 〔参加者〕 9名(事務局5 企業4)
- 〔検討事項〕 ・コア企業による参加企業訪問(案)について  
・会員内の不足業種の対応について

③共同受託・会員企業訪問

(ア) 訪問1 平成16年6月4日(金)

- ・㈱エヌケー製作所 ・㈱コスモテック ・日ノ出工機㈱ ・㈱日東紡テクノ  
・㈱三船

(イ) 訪問2 平成16年6月11日(金)

- ・林精器製造㈱ ・アスター工業㈱ ・吉城光科学㈱ ・中根精工㈱ ・フジ機工

(ウ) 訪問3 平成16年7月30日(金)

- ・東和金属㈱ ・㈱サクラテック ・㈱スズキ製作所 ・神田産業㈱

(エ) 訪問4 平成16年8月6日(金)

- ・アルファ電子㈱ ・エヌケー電子工業㈱ ・東北リズム㈱  
・インターワイヤード㈱郡山サポートセンター

④アライアンス共同受託推進懇談会(準備等が整った24社が参画)

〔開催日〕 平成16年10月14日（木）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 21名

〔内 容〕 ・共同受託の進め方について  
・営業展開に向けて

⑤アライアンス形成会議・受発注推進部会（11月例会）

〔開催日〕 平成16年11月15日（月）

〔会 場〕 ビッグパレットふくしま

〔参加者〕 23名

〔内 容〕 「共同受託会員（24社）による懇談会」  
・大手企業訪問について  
・福島県産業技術顧問 柳田公雄氏からのアドバイス

⑥企業コラボレーションー1

（ア）株Spansion Japan 平成16年12月3日（金）

（イ）富士通株会津若松工場 平成16年12月3日（金）

（ウ）ソニーエナジー・デバイス株 平成16年12月13日（月）

⑦アライアンス形成会議・受発注推進部会（12月例会）

〔開催日〕 平成16年12月24日（金）

〔会 場〕 ビッグパレットふくしま

〔参加者〕 19名

〔内 容〕 ・発注案件の説明  
・発注案件の検討

⑧企業コラボレーションー2

（ア）信越半導体株白河工場 平成17年2月17日（木）

（イ）信越石英株郡山工場 平成17年2月17日（木）

（ウ）福島キャノン株 平成17年2月25日（木）

【役員会】

①第1回役員会（コア企業幹事会と同日開催）

〔開催日〕 平成16年5月10日（金）

〔会 場〕 テクノポリス事務局

〔参加者〕 9名（事務局5 企業4）

〔検討事項〕 ・総会、全体交流会について  
・研究開発推進部会事業について  
・受発注推進部会事業について

②総会

〔開催日〕 平成16年5月25日（火）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 25名

〔内 容〕 ・15年度事業報告及び収支決算報告について  
・16年度事業計画（案）及び予算（案）について

- ・16年度役員について

### ③第2回役員会

- 〔開催日〕 平成16年9月8日（水）
- 〔会場〕 ビッグパレットふくしま 会議室
- 〔参加者〕 14名（事務局6 企業8）
- 〔検討事項〕 ・役員改選（会長選出決定）  
・活動状況について

## 【地域技術起業化推進事業】

### 1. 地域技術起業化支援事業

#### (1) 起業化支援事業

新しい製品・技術・サービスなどを有する企業が結集し、情報発信、販路開拓、技術交流を行う場として開催された「ビジネスクリエーション東北2004」への企業の出展を支援した。

〔補助対象企業〕 11社

#### (2) 郡山型インキュベート施設推進事業

郡山型インキュベート施設の整備を図るため、ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想検討委員会を設置して、当該整備構想を策定した。

#### 【先進地調査】

##### ①第1回

- 〔開催日〕 平成16年6月11日（金）
- 〔参加者〕 11名
- 〔視察先〕 インキュベーション・オン・キャンパス本庄早稲田（埼玉県本庄市）

##### ②第2回

- 〔開催日〕 平成16年6月28日（月）～7月4日（日）
- 〔参加者〕 13名
- 〔視察先〕 サンノゼシリコンバレー（米国）

##### ③第3回

- 〔開催日〕 平成16年7月7日（水）
- 〔参加者〕 12名
- 〔視察先〕 MINATOインキュベーションセンター（東京都港区）

##### ③第4回

- 〔開催日〕 平成16年9月28日（火）～9月29日（水）
- 〔参加者〕 11名

〔視察先〕 長野市産学行連携試作・開発センター（長野県長野市）

【ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想検討委員会作業部会】

①第1回

〔開催日〕 平成16年10月13日（水）  
〔会場〕 日本大学工学部 55号館  
〔参加者〕 12名  
〔内容〕 「郡山型インキュベーションセンター整備構想」のコンセプトについて  
「郡山型インキュベーションセンター整備構想（案）」の作成について

②第2回

〔開催日〕 平成16年11月9日（火）  
〔会場〕 日本大学工学部 55号館  
〔参加者〕 16名  
〔内容〕 「ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想（案）」について

【ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想検討委員会】

①第1回

〔開催日〕 平成16年12月22日（水）  
〔会場〕 ホテルハマツ 福寿の間  
〔参加者〕 9名  
〔内容〕 「ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想検討委員会設置要綱（案）」について  
「ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備構想（案）」について

【ふくしまものづくりインキュベーションセンター試作センター調査検討会議】

①第1回

〔開催日〕 平成17年1月14日（月）  
〔会場〕 日本大学工学部 環境保全共同共生研究センター  
〔参加者〕 16名  
〔内容〕 「試作センターの設備機器の調査、設置案、費用算出など」について

②第2回

〔開催日〕 平成17年2月28日（月）  
〔会場〕 日本大学工学部 環境保全共同共生研究センター  
〔参加者〕 17名  
〔内容〕 「試作センター構想（案）」の協議・まとめ

### (3)「個人としての自立～起業人又はプロフェッショナルとして生き残るために必要なこと」テキスト等の作成

#### ①「個人としての自立～起業人又はプロフェッショナルとして生き残るために必要なこと」テキスト等の作成

「幸せな仕事人になるためのキャリア・デザイン・ハンドブック」

A4版 142ページ

執筆 佐久間陽一郎氏（佐久間コンサルティングオフィス主宰、元アーサー・D・リトル・インターナショナル副社長）

#### ②福島地域講演会

個個人が職業人として生き抜くための「道しるべ」として、経営者や就業予定者などを対象に、佐久間陽一郎氏を講師に開催した。

〔開催日〕 平成17年2月8日（火）

〔会場〕 福島県庁西庁舎10階ミーティングルーム

〔参加者〕 30名

#### ③郡山地域講演会

内容は②に同じ

〔開催日〕 平成17年2月23日（金）

〔会場〕 郡山商工会議所会館 特別室

〔参加者〕 80名

#### ④会津地域講演会

内容は②に同じ

〔開催日〕 平成17年3月16日（水）

〔会場〕 会津若松ワシントンホテル

〔参加者〕 65名

#### ⑤いわき地域講演会

内容は②に同じ

〔開催日〕 平成17年3月10日（木）

〔会場〕 いわき市総合保健福祉センター

〔参加者〕 60名

## 2. 地域技術起業化助成事業

### (1) 起業化助成事業

複数の中小企業者または法人格を有する団体が、技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するために必要な商品・製品開発、デザイン開発、情報収集などを、共同して実施する事業に対して助成する事業で、下記1件に対して助成を決定した。

#### ①(有)住環境設計室 「持ち運び式杭回転埋設機の開発と沈下修正工法の普及」

既に実績のある沈下修正工法を、狭小宅地でも実施可能とするための、建物を反力とする小型杭施工機の開発と普及。

[助成金額190万円]

### 3. ソフト産業(支援型産業)育成事業

#### (1)「第6回ふくしまユニバーサルデザインフェア」の開催

〈福島県デザイン振興会、郡山商工会議所、NPOふくしまユニバーサルデザインとの共催〉

デザインによる産業と地域の活性化を目的に開催した。入場者数10,250名。出展者数99企業・団体・個人。

[開催日] 平成16年9月10日(金)～12日(日)

[会場] ビッグパレットふくしま

[内容] ・「産業ゾーン」  
・「教育ゾーン」  
・「情報システムゾーン」  
・「医療・福祉ゾーン」  
・「UD提案ゾーン」  
・「ホビー・カルチャーゾーン」  
・「飲食ゾーン」

#### (2)公募型ユニバーサルデザイン製品開発支援事業

福島県からの委託により、県内製造業におけるユニバーサルデザインを取り入れたものづくり開発を総合的に支援した。

4月6日(火) ビッグパレットふくしま

選定評価委員会委員委嘱状交付式・第1回委員会  
議題

- ・実施要領について
- ・応募要領について

4月6日～5月31日 UD製品開発プロジェクト募集

6月21日(月) ビッグパレットふくしま

第2回選定評価委員会  
議題

- ・支援プロジェクトの選定

7月21日(水) 県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター  
専門アドバイザー派遣(1回目)

- 8月27日～31日 専門アドバイザー派遣（2回目）  
・ 書面アドバイス
- 9月10日～12日 '04ふくしまUDフェア  
・ 採択試作品展示
- 9月11日（土） '04ふくしまUDフェア会場にて  
消費者モニタリング実施（1回目）モニター51人
- 11月9日（火） ビッグパレットふくしま  
第3回選定評価委員会  
議題  
・ 中間評価
- 12月24日（金） 福島市男女共同参画センター ウィズ・もとまち  
消費者モニタリング実施（2回目）モニター10人
- 12月27日（月） ビッグパレットふくしま  
消費者モニタリング実施（2回目）モニター21人
- 2月9日～10日 専門アドバイザー派遣（3回目）  
・ 書面アドバイス
- 2月18日（金） ビッグパレットふくしま  
第4回選定評価委員会  
ビッグパレットふくしま  
成果発表会

## 【広報活動事業】

### 1. 広報誌「サザンクロス」による広報

圏域内企業、関係行政機関、商工団体などに配布した。

- ① 平成16年 9月22日 2,000部
- ② 平成17年 1月12日 2,000部

### 2. ホームページの開設

インターネット・ホームページにより、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研修会、助成制度など、企業に役立つ情報を提供した。

〔内容〕 「テクノニュース」「ビジネス交流サロン」「テクノ圏域企業情報」「研究者・研究機関データベース」「補助金・助成金情報」「メンバーズルーム」

(総アクセス数 18,017回)

### 3. メールマガジンの発行

セミナーや研修会、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを発行した。

毎月2回発行

3月現在登録者数 400名

## 【理事会等の開催】

### 1. 監査会

平成16年 5月10日 (月)

### 2. 理事会

第1回 平成16年 5月 7日 (金) (書面)

第2回 平成16年 5月27日 (木)

第3回 平成17年 2月23日 (水) (書面)

第4回 平成17年 3月25日 (金)

### 3. 評議員会

第1回 平成16年 5月19日 (水)

第2回 平成17年 3月18日 (金)

### 4. 技術等審査委員会

第1回 平成16年 6月17日 (木)

第2回 平成17年 1月28日 (金)